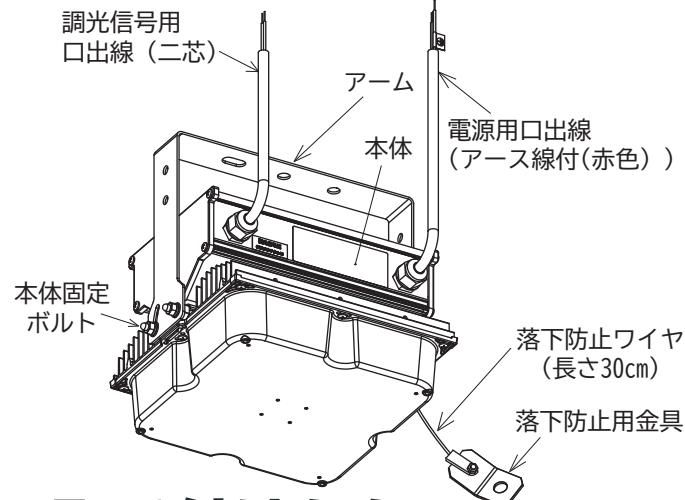


## 2. 各部の名前

(図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です)



## 3. 取り付けかた

### 1 取付前に確認する。

- 取付ボルトは器具質量(表1)に十分耐える強度のある天井面に設けてください。  
※強度が不足していると落下によるけがの原因となります。
- 取付ボルトの施工寸法は、背面取付穴(図1)の取付ピッチを参照してください。また、落下防止用金具の取付ボルトを設けてください。  
※取付ボルトはW3/8またはM10を使用してください。
- 取付ボルトの出代は本体内30~50mmにしてください。  
※取付ボルトが出すぎると器具が取り付けられなくなります。

### 2 器具・落下防止ワイヤを取り付ける。

- 器具の取り付けは安全施工上、2名以上で作業を行ってください。
- アームと落下防止用金具の取付用穴に取付ボルトを通して、平座金・ばね座金・ナットを用いて緩みのないように確実に固定してください。(図2)  
ナットはダブルナットで締め付けてください。  
(推奨締付トルク25N·m)
- 傾斜天井に取り付ける場合、器具本体が必ず水平になるように調整し、本体固定ボルトで確実に固定してください。(推奨締付トルク8N·m)  
傾斜角度は0~30°までの傾斜天井に取付可能です。(図3)  
※取付に不備があると、落下による死亡やけがの原因となります。

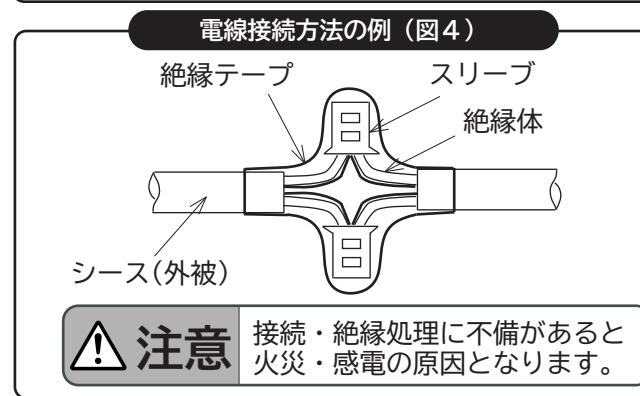
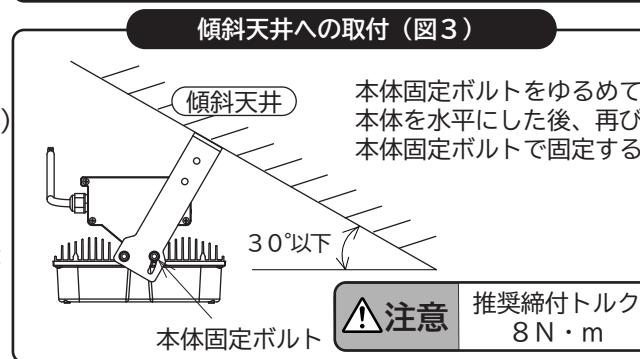
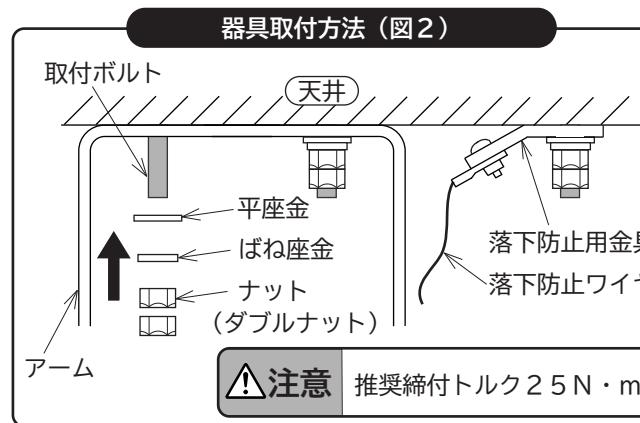
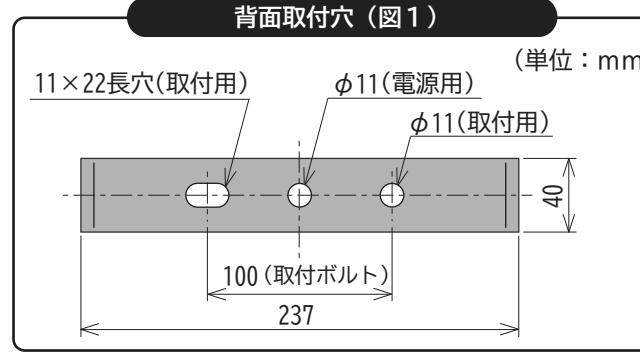
### 3 電源用口出線に電源線・アース線を接続する。

- 電線の接続はスリーブなどを用いて接続し、接続部は絶縁テープを巻いて絶縁処理を確実に行ってください。(図4)
- 電線の接続は電気設備技術基準省令第7条、及び同解釈第12条に従い確実に接続してください。  
※接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- アース線はD種接地工事を確実に行ってください。  
※アース工事が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

### 4 調光信号用口出線に調光信号線を接続する。

- 制御装置への接続可能台数を確認する。  
制御装置には接続可能な点灯装置の台数に制限があります。詳細は制御装置の仕様書を確認してください。
- 電気設備の技術基準に従い、調光信号用口出線(二芯)に調光信号線を確実に接続してください。  
※接続が不完全な場合、発熱・火災の原因となります。  
また、電源線への誤接続は、破損・火災の原因となります。
- 調光信号線は通信用ケーブル(CPEV等)を使用してください。調光信号線用口出線に極性はありません。

器具質量(表1)	
形式	質量(kg)
MTE11ANN-Z14A	3.2
MTE11AMN-Z14A	3.0
MTE11AWN-Z14A	3.0
MTE17ANN-Z14A	3.2
MTE17AMN-Z14A	3.0
MTE17AWN-Z14A	3.0
MTE22ANN-Z14A	3.4
MTE22AMN-Z14A	3.2
MTE22AWN-Z14A	3.2



### 5 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認する。

- 500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。

### 6 電源を入れ、点灯確認する。

お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

## 1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

### ! 警告

- 器具を改造しない。※火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 防爆形ではありません。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんなど、引火する可能性のある場所では使用しない。※火災・爆発の原因となります。
- 煙が出たり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は必ず電源を切る。※感電の原因となります。

### ! 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を受けたり、落としたりしない。※器具の破損によるけがの原因となります。
- LED光源を直視しない。※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- カバーに衝撃を加えたり、破損した状態で使用しない。※落下的原因となります。
- LED照明器具と被照射物は1m以上離して使用する。※火災・被照射物の変色や変形の原因となります。
- 冬季など、長時間使用しない施設では、湿気対策として定期的に通電する。※周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電による感電の原因となります。
- LED照明器具の照射面には、指定されたガード類以外は取り付けない。※火災・不点灯・短寿命の原因となります。

## ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検を実施してください。  
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がある場合は交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していくので点検・交換してください。  
(使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くで同時通話機等の誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一器具内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じることがあります。
- 器具の周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によって光ムラが気になる場合があります。
- 調光度が低い場合には、LED個々の発光色・明るさのバラツキがわかりやすくなる場合があります。また、調光度が下限に近い場合には、バラツキにより点灯しているLEDと点灯していないLEDが混在する場合がありますが異常ではありません。
- 組み合わせる制御装置や使用環境によって、複数の器具を1つの調光器で制御する場合に個々の消灯タイミングが異なる場合があります。